

予約不要
参加費無料

はずして。
つくって。
やぶって。
かいて

今回のテーマは本！



永国寺はらっぱフェス

2025年

9月20日 土

13:30~16:00

高知県立大学永国寺キャンパス食堂

※駐車場はございません。
公共交通機関又は近隣の有料駐車場をご利用ください。

ヒューマンライブラリー

セッション1 13:45~14:15

セッション2 15:30~16:00

「生きている本」と
対話してみよう！



トークセッション

ケアと読書と当事者と

14:30~15:15

人文系私設図書館 ルチャリブロ

司書 青木 海青子 氏

高知県立大学 文化学部

白岩 英樹 教授



企画 高知県立大学永国寺はらっぱフェスプロジェクト
お問い合わせ先 088-847-8815(企画調整課)

WEBサイトは
こちら ▶





高知県立大学
永国寺キャンパス



◀高知県立高知
丸の内高等学校

会場内

入口

トイレは
こちらから



カフェ
コーナー

ブック
コーナー

トークセッション

ヒューマン
ライブラリー

ヒューマンライブラリー

セッション1 13:45~14:15

セッション2 15:30~16:00

誤解や偏見をもたれやすい方々が「生きている本」となって、
読者（参加者）と共に、自らの経験について語り合います。

なんじゃこの人生？

幼少期からの母との暮らし。家や学校でサバイブしながら「一人で生きて、一人で死にたい」と考えてきた。知的障害や発達障害の診断を受けて、支援される未来を生きる？「なんじゃこの人生？」と頭に浮かび、生き方のシフトチェンジが始まった。

著者 tomo

「家族」というものへの想い、 そして愛と言う名の執着

母は元々は愛情の対象、父は中身がわからないから恐れの対象、長兄は頼りないが分かり易く父代わりの対象、次兄は普通の兄妹の対象。
信頼だけはあった機能不全家庭（愛知県名古屋市）で育った著者の、「家族」への執着と想いのお話です。

著者 イオ

まあくんの感じるこの世の仕組み ～ボクが見ている「こっちの世界」と 「そっちの世界」～

悩み多き子ども時代を経て、20代半で精神病に侵される。しかし、そこから這い上がっていく中で、子どもの時から感じていた、この世（宇宙）の絶対的仕組みを体感する！脳のバグを修正していく作業は、脳を最適化する結果に！それは、時間を超越した、精神を安定に導く道標だった！?

著者 まあくん



...And MORE!

永国寺はらっぱフェスとは？

「永国寺はらっぱフェス」は、高知県立大学永国寺キャンパス地域交流広場（緑の広場：はらっぱ）を中心に、さまざまなイベントを通して「自由な空間で、いろんな人と一緒に“元気の種”を見つけ、たねまきをする”プロジェクトです。気軽に立ち寄りたくなるような週末イベントと、メンタルヘルスに関するミニ講話やヒューマンライブラリー等を同時開催し、さまざまな背景を抱える人たちと共生していく地域のつながりを創出していきたいと考えています。